※令和４年度以降入学生用

学校番号	１０９

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	(学)歴史探究	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書							
副教材等	現代の歴史総合　みる・読みとく・考える　（山川出版社） 明解歴史総合図説シンフォニア（帝国書院）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・日本に住む若者として戦後日本の歩みを正確に知っておくこと、同時に日本の歩みは世界の動きと深く結びついていることを念頭におき考えよう。
・現代の世界と日本の歴史を関連付けながら学び、不確実性が増しつつある今を生き抜くために必要な歴史的思考を身につけよう。

2　学習の到達目標

(1)現代の諸課題を理解するために歴史の学習を深めるとともに、諸資料を読み取り、その内容を理解する。
(2)国際社会に歴史が与えた影響を考察し、その原因と結果を学び、現代における解決策を表現する。
(3)政治だけに限らず、経済や文化にも目を向けつつ、社会の一員として何ができるかを、常に考える態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とそのなかの日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる現代の歴史を理解している。 諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけている。	現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりしている。考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。	現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

※令和４年度以降入学生用

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	戦後秩序の再編	連合国の占領政策と日本の戦後改革 冷戦とアジアの再編	a:国際連合と国際経済体制，冷戦の始まりとアジア諸国の動向，戦後改革と日本国憲法の制定，平和条約と日本の独立の回復などを基に，諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめ，第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解している。 b:第二次世界大戦後の国際秩序の形成が社会に及ぼした影響などに着目して，主題を設定し，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，第二次世界大戦の性格と惨禍，第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活，日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c:国際秩序の変化に関わる諸事象について，見通しを持って学習に取り組もうとし，学習を振り返りながら課題を追究しようとしている。	定期考査 確認ﾃｽﾄ	定期考査 レポート課題	レポート課題 ワークシート提出物
	国際秩序の変化と現代的な諸課題	自由・制限 平等・格差 開発・保全 統合・分化 対立・協調	a: 現代的な諸課題の形成に関わる国際秩序の変化や大衆化の歴史について理解し，説明している。 b:国際秩序の変化や大衆化に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響などに着目して，主題について，現代的な諸課題に関連付けて，多面的・多角的に考察し，その結果を表現している。 c:「国際秩序の変化や大衆化と私たち」における自身の学習の経緯について，自身の関わりを踏まえて振り返るとともに，次の学習へのつながりを見いだそうとしている。	定期考査 確認ﾃｽﾄ	定期考査 レポート課題	レポート課題 ワークシート提出物

※令和４年度以降入学生用

2学期	冷戦と世界経済	冷戦の拡大と第三勢力 キューバ危機と核兵器の管理 脱植民地化の進展と地域紛争 計画経済と開発 冷戦下の日本とアジア 日本と欧米先進国の経済成長 地域連携の拡大 ベトナム戦争と冷戦構造の変容	a:脱植民地化とアジア・アフリカ諸国，冷戦下の地域紛争，先進国の政治の動向，軍備拡張や核兵器の管理などを基に，諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめ，国際政治の変容を理解している。 西ヨーロッパや東南アジアの地域連携，計画経済とその波及，日本の高度経済成長などを基に，諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめ，世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会を理解している。 b:地域紛争の背景や影響，冷戦が各国の政治に及ぼした影響などに着目して，主題を設定し，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，地域紛争と冷戦の関係，第三世界の国々の経済政策の特徴，欧米やソヴィエト連邦の政策転換の要因などを多面的・多角的に考察し，表現している。 冷戦が各国経済に及ぼした影響，地域連携の背景と影響，日本の高度経済成長の背景と影響などに着目して，主題を設定し，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，冷戦下の世界経済や地域連携の特徴，経済成長による生活や社会の変容などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c:グローバル化の歴史に関わる諸事象について，見通しを持って学習に取り組もうとし，学習を振り返りながら課題を追究しようとしている。	定期考査 確認ﾃｽﾄ	定期考査 レポート課題	レポート課題 ワークシート提出物
	経済の自由化	石油危機 アジアの経済発展と日本	a:市場経済の変容と課題について，諸資料から読み取り、理解している。 b:アジアの諸地域の経済発展の背景，経済の自由化や技術革新の影響，資源・エネルギーと地球環境問題が世界経済に及ぼした影響などに着目して，市場経済のグローバル化の特徴と日本の役割などについて考察し，結果を表現している。 c:市場経済の変容と課題について，見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査 確認ﾃｽﾄ	定期考査 レポート課題	レポート課題 ワークシート提出物

※令和４年度以降入学生用

３学期	現代的諸課題の形成	冷戦の終結と世界 拡散する地域紛争 民主化の進展 グローバル化と地域統合	a:冷戦終結後の国際政治の変容と課題について，概念的に理解している、 b:冷戦の変容と終結の背景，民主化や地域統合の背景と影響，地域紛争の拡散の背景と影響などに着目して，冷戦終結後の国際政治の特徴と日本の役割などについて考察し，結果を表現している。 c:冷戦終結後の国際政治の変容と課題について振り返り，自らの学習を調整しようとしている。	定期考査 確認ﾃｽﾄ	定期考査 レポート課題	レポート課題 ワークシート提出物

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度